

研修報告書 No 8

横浜市立大学附属市民総合医療センター 花井孝宏研修医

研修施設： 本山町立国保嶺北中央病院

大川村国保小松診療所

いの町立国保長沢診療所

1ヶ月という非常に短い期間でしたが嶺北中央病院を中心に地域医療を学ばせていただきました。嶺北中央病院は、内科・外科・整形外科合わせて常勤医は9人おり、院内での診療に限らずに無医地区や地域の診療所での診察や訪問診療など地域の医療の中核病院であり、地域医療における中核病院の役割の大きさを認識しました。

地元の方や医師の方から高知県は他県に比べて高齢化が進んでいるとのことでした。神奈川県における地域医療がどのような状況か分からないので比較は出来ませんが、高齢化が進み交通の便がよくないところに住んでいる高齢者の方にとっては訪問診療や各診療所での診察というのは必要不可欠なものであり、高齢化がさらに進む地域にとって嶺北中央病院のような地域中核病院の役割はますます大きくなっていくのではないかと考えました。さらに、様々なお宅へ訪問診療ということで伺わせていただきましたが、各家庭で介護力や家庭環境も違い、その患者、家族にとって best の治療法を考えていくことが非常に大切だと実感しました。ある意味とても「質の高い」医療を行っていると感じました。普段大学病院で研修をしていると患者の家庭環境や、退院後のことなど忘れがちになることですが、今後大学病院での研修でも同様に患者やその家族にあった医療を提供するように努めようと思いました。

嶺北中央病院での研修はスタッフの数も多く、様々な処置、検査などとても多くのことを経験させていただきました。普段大学病院ではエコーは技師さんが、レントゲンやCT、MRIの読影は放射線科の医師が、また診療科も細かく分かれていましたが、ここでは全てを自分で判断し診療に当たらなければならず、先生方の知識の幅広さや症状に対する引き出しの多さ、勉強熱心さなど学ぶべき点がとても多かったです。また週に1度抄読会もあり、大学での研修と違い勉強に充てる時間も持つことができ、とても勉強になりました。

最後になりますが研修期間中には高知県内の様々なところを観光もさせていただきました。観光名所もあり、魅力的な食事やお酒も十分に楽しめたと思います。

普段は大学病院で研修を行っているため地域医療の状況が全く分からないまま研修を始めましたが、医師の方やコメディカルの方、また嶺北中央病院に通院される患者の方と非常に多くの方に支えられ多くのことを学び、非常に有意義な研修生活を送れたと思います。今後大学病院に戻りますがこの1ヶ月の経験を活かして今後の研修生活に臨めればと思います。どうもありがとうございました。